

# 令和7年度健康づくり指導者セミナー（行政コース）報告書

## 1. 概要

### 【目的】

地域における健康づくりの知識と技術を身につけた指導者を養成し、市町村健康増進計画や保健事業等の効果的な評価・策定・運営方法を習得する。

### 【主催】

愛知県、公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団

### 【方法】

来場型研修

### 【対象者】

- (1) 愛知県内の市町村で保健衛生、高齢福祉、保険年金部門等の業務に携わる担当者和その管理職
- (2) 愛知県内の保健所で市町村支援業務に携わる職員
- (3) 愛知県後期高齢者医療広域連合、愛知県国民健康保険団体連合会の職員

### 【受講資格】

本セミナーを全て受講できること

### 【定員】

80名程度

### 【日時】

令和7年11月6日（木）午後1時から午後4時30分まで

### 【募集期間】

令和7年9月2日（火）午前10時から10月23日（木）午後5時まで

### 【参加費】

無料

## 令和7年度健康づくり指導者セミナー(行政コース) プログラム

セミナーテーマ：はじめの一步！！「健康寿命の延伸」に向けて  
わがまちの特徴について一緒にデータ分析してみよう

来場型 令和7年11月6日(木) 午後1時00分～午後4時30分

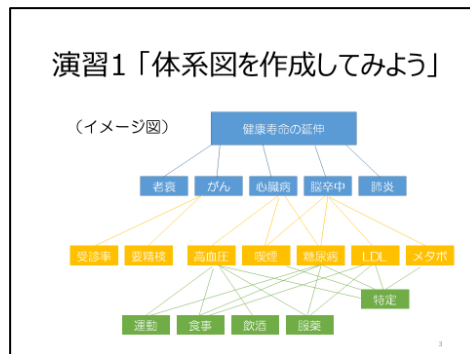
時間	項目	概要
(5分)	開講・オリエンテーション	持ち物(既存データ<KDB、特定健診データ、衛生年報など>)の確認 ※無い場合は、愛知県データを配布します
(60分)	演習1 講義・グループワーク 「体系図を作成してみよう」	<p>&lt;講義&gt; 「健康寿命の延伸」を最上位目標とし、人が病気を発症し、介護や死亡に至るまでの流れを体系化し、それに伴うデータとの関連づけを行う。</p> <p>&lt;グループワーク&gt; 1.生活習慣病予防担当 生活習慣病の発症から重症化までの流れについて、体系図を作成する。 2.介護予防担当 要介護に至るまでの流れについて、体系図を作成する。</p>
(10分)	質疑応答	作成した体系図と、データとの関連づけを行い、包括的な理解を深める。
(10分)	休憩	
(60分)	演習2 講義・ワーク(個人・グループワーク) 「既存データの活用方法について知ろう」	<p>&lt;講義&gt; 既存データを活用するメリットやその留意点を確認するとともに、同規模自治体との比較や経年変化を見える化するなど、多面的に分析する方法を学ぶ。</p> <p>&lt;ワーク(個人・グループワーク)&gt; 演習1で作成した体系図に「既存データ」を投入し、県や同規模自治体との比較や経年変化の状況など、様々な視点からデータを分析し、評価する。</p>
(10分)	質疑応答	
(10分)	休憩	
(30分)	演習3 ワーク(個人・グループワーク) 「分析・評価から課題を考察し、優先順位づけをしてみよう」	<p>&lt;個人ワーク&gt; 演習2の結果について、現在の「実施している事業」、「まわりの環境」、「住民の特徴」、など担当者の肌感覚も踏まえて原因を考察する。その考察から課題を抽出し、重要性や緊急性から実施すべき事業の優先順位づけをする。</p> <p>&lt;グループワーク&gt; 個人で行ったワークをもとに、考察した内容や課題決定までの過程など、グループ内で発表、意見交換することにより、多角的な視点を取り入れる。</p>
(10分)	質疑応答	
(5分)	諸連絡・閉講	

今回の研修では自市町村のデータ分析を体験し、気軽に活用できるようにするため、自市町村の既存データを持ち込み演習を実施した。

## 演習1「健康寿命の延伸を目標とし、体系図を作成する」

あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 研修啓発課 池田 達哉

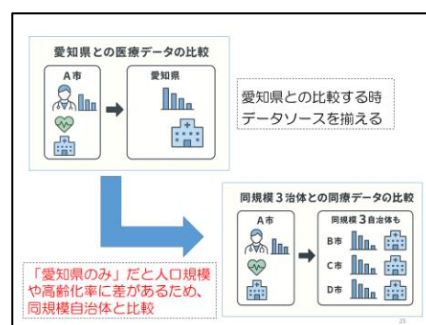
生活習慣病予防・介護予防において、最終目標である「健康寿命の延伸」のため、健康寿命の考え方を理解し、結果に対しての原因を体系的に並べることによって、データの互換性を確認した。また、階層化をもとに、順番に分析を進めるイメージを作ったうえで、データ分析時の構造的な理解と包括的な分析の体験をすることができた。



## 演習2「既存データの活用方法について知ろう」

あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 研修啓発課 池田 達哉

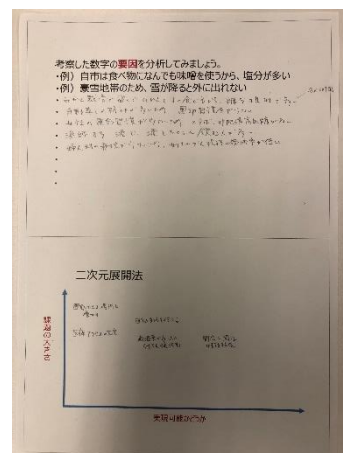
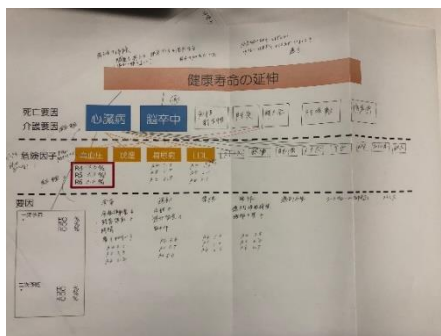
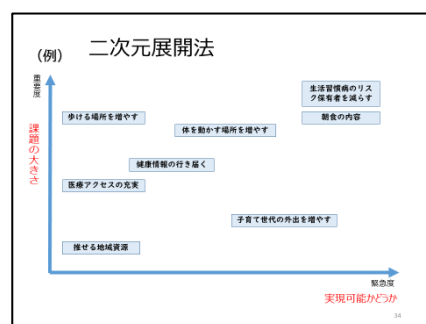
既存データの活用について、①既存データの種類・特徴や注意点、②経年評価ができることについての意義や利点を説明し、活用方法を理解した。その後、演習1で作成した体系図に持ち込みデータを投入し、データの特徴と変動を踏まえたうえで、データ分析を体験した。



## 演習3「分析・評価から課題を考察し、優先順位づけをしてみよう」

あいち健康の森健康科学総合センター 健康開発部 研修啓発課 池田 達哉

事前課題のワークにてまとめた、自市町村の特徴（人口動態、人口流動、インフラ状況、住民性など）データと、担当者の肌感覚から演習2で行ったデータ分析によって導き出した結果の原因を考察し、その原因を二次元展開法を活用しながら優先順位づけすることで実施すべき行動を明確にする体験をした。



## 2. 申込状況

【申込者数】 36 人

【出席者】 33 人（欠席：体調不良 3 名）

### 【所属別】

	市町村	保健所・県	その他
人数	29 人	3 人	1 人
割合	87.9%	9.1%	3.0%

### 【職種別】

	保健師	管理栄養士	事務職
人数	28 人	2 人	3 人
割合	84.9%	6.0%	9.1%

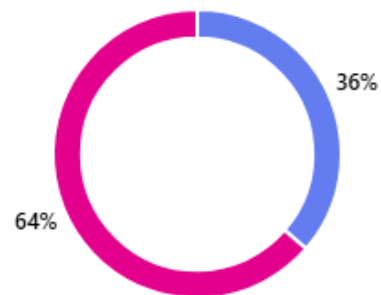
## 3. アンケート結果

【回収状況】 33 人（回収率 100%）

### 3.1 演習 1「健康寿命の延伸を目標とし、体系図を作成する」

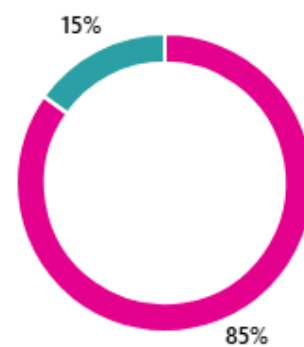
#### <活用度>

● かなり活用できそう	12
● 活用できそう	21
● あまり活用できなさそう	0
● 全く活用できなさそう	0



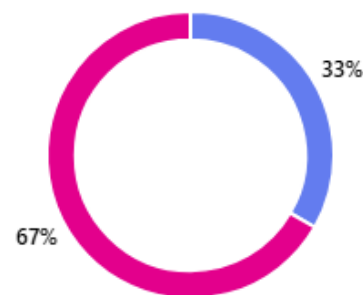
#### <難易度>

● かなり難しかった	0
● 難しかった	28
● 簡単だった	5
● とても簡単だった	0



### <満足度>

● 大変満足	11
● 満足	22
● あまり満足していない	0
● 満足していない	0



### <感想（自由記載）>

#### ○課題分析の難しさ

- ・当初、要因の階層化が難しいと感じました。
- ・要因やリスクなどを関連づけて体系化する経験が、これまでは少なかったです。
- ・普段の業務では、課題からの対策までで留まってしまいがちです。

#### ○ロジックモデルの活用

- ・他者と話すことで、要因を整理、ロジックモデルを取り入れることの参考になりました。
- ・ロジックモデルを初めて作成したため、戸惑いながらも、問題を深く掘り下げ、体系図を作成することができました。
- ・要因の階層化や、ある階層の課題が次の段階の要因になるという基本的な考え方を学びました。

#### ○図示化のメリット

- ・図に落とし込むことで、要因と課題が可視化され、整理しやすくなりました。
- ・具体的な記述（例：「運動不足だから心臓病」）により、死亡要因と危険因子を改めて重視することの重要性を再認識できました。
- ・グループワークでの意見交換が、危険因子と要因の分け方など考える上で役立ちました。

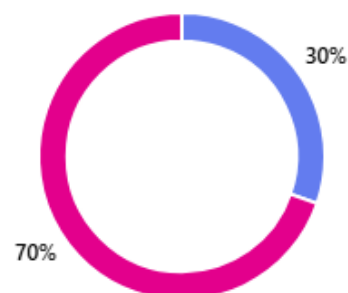
#### ○その他

- ・着手前は難しそうだと感じていましたが、書き方に悩むところもありつつ、学びに繋がりました。
- ・意外とやってみると当たり前の事に感じつつ、それができていなかった。

## 3.2 演習2「既存データの活用方法について知ろう」

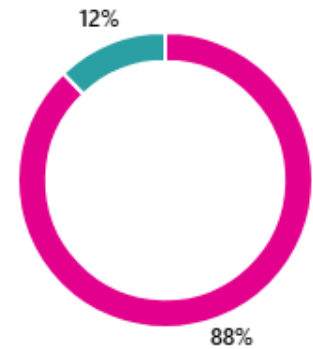
### <活用度>

● かなり活用できそう	10
● 活用できそう	23
● あまり活用できなさそう	0
● 全く活用できなさそう	0



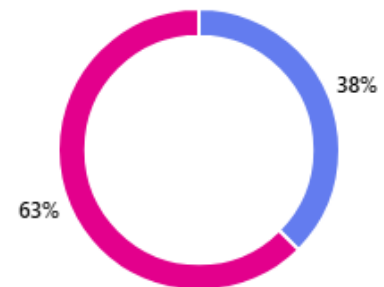
### <難易度>

● かなり難しかった	0
● 難しかった	29
● 簡単だった	4
● かなり簡単だった	0



### <満足度>

● 大変満足	12
● 満足	20
● あまり満足していない	0
● 満足していない	0



### <感想（自由記載）>

#### ○データ分析の難しさ

- ・比較対象が同じでないデータがあったため、分析に難しさを感じました。
- ・持参したデータが不足しすぎていたという問題がありました。
- ・普段扱わないデータや、これまで使っていなかった様々なデータを準備し、参考になりました。

#### ○データ活用の重要性

- ・データ分析は難しいという認識がありましたが、多くのデータから活用できる可能性があることを学びました。
- ・既存のデータを上手に使いこなすためのデータ活用方法について、今後とも考慮すべきだと感じました。

#### ○データ分析へのアプローチ

- ・データを見る際は、段階的に考えるという視点が重要だとわかりました。
- ・データを分析・解釈する際には、目的を持つことで、データの読み取り方が変わると感じました。
- ・一つ一つのデータを因果関係も含めて注意深く見ることの重要性を再認識しました。

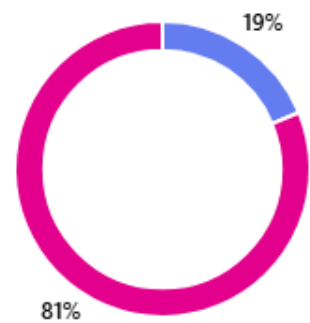
#### ○今後の改善点

- ・他の町の意見を聞いたり、自町のデータを見直したりすることで、より良い比較の方法やデータベース構築に繋がると考えます。
- ・データ分析における注意点を意識し、今後データに触れる機会を増やしていきたいです。

### 3.3 演習3「分析・評価から課題を考察し、優先順位づけをしてみよう」

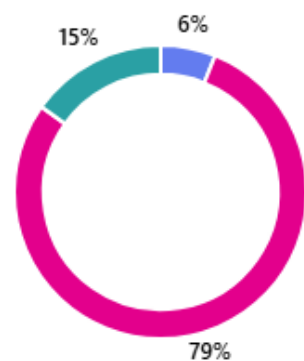
#### <活用度>

● かなり活用できそう	6
● 活用できそう	26
● あまり活用できなさそう	0
● 活用できなさそう	0



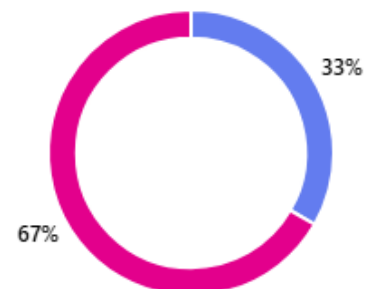
#### <難易度>

● かなり難しかった	2
● 難しかった	26
● 簡単だった	5
● とても簡単だった	0



#### <満足度>

● かなり満足	11
● 満足	22
● あまり満足していない	0
● 満足していない	0



#### <感想（自由記載）>

##### ○データ分析・比較に関する学び

- ・周りの市町村などの数値と比較することの重要性を再認識しました。
- ・県全体で考える視点や、他市の状況を知ることで、自市の特徴について改めて考えるきっかけになりました。
- ・県と比較した際に突出している点を洗い出すことができました。
- ・分析結果を出す際は、客観的な数字（データ）のみではなく、担当者の肌感覚を組み合わせ、数字の分析を考察することが重要だと感じました。

##### ○課題抽出・計画策定の難しさ

- ・実際にやってみると、量的データと質的データの比較検討が難しかったです。
- ・課題の優先順位に、難しさや重要度を活用することができると感じました。

- ・主観も交えながら考えてみましたが、住民性や実施環境など、実現性と課題を両立させるのが難しく、課題が十分に抽出できない部分がありました。
- ・普段あまり考えることがない点について、今の計画と照らし合わせ、多角的に考えることができました。

#### ○業務への活かし方

- ・同じ立場の担当者と話すことで、課題の整理の仕方が分かりやすくなりました。
- ・取り組むべき事が表に可視化され、今後の業務の参考になりました。

### 研修会全体についての感想（自由記載）

#### ○研修・セミナーの感想と評価

- ・研修全体を通して大変楽しく、勉強になりました。
- ・普段あまり考える機会がなかったことを考えることができ、良い機会になりました。
- ・計画策定や、保健事業に落とし込んで考える良い機会になりました。
- ・講師の説明は分かりやすく、大変参考になりました。
- ・セミナーを開催していただき、ありがとうございました。

#### ○学びと得られたこと

- ・データ分析の基礎を学ぶことができ、とても参考になりました。
- ・なんとなく把握していたデータ分析のイメージを深めることができました。
- ・他の市町村の方の分析内容や、情報交換・交流から多くの学びや気づきを得ました。
- ・普段の業務で分析ができるようになって感じ、できるようになりたいと思いました。
- ・地域の特定や特徴を把握する上で、データの活用が重要だと再認識しました。

#### ○課題・反省点

- ・異動したばかりでデータへの苦手意識がある中での研修でしたが、分析への意識を高められました。
- ・少人数のグループワークだったため、意見交換が難しく感じた点もありました。
- ・数値の見方や、業務での活かし方について、今後とも取り組むべきだと感じました。